

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス ユニプルkids粕屋校

項 目	ね ら い
健康・生活	①健康状態の維持・改善 ②生活習慣や生活リズムの形成 ③基本的生活スキルの獲得
支 援 内 容 ①健康状態の維持・改善 定期的な検温にて体調観察を行い、平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応をいち早く行う。 また、自らの体調について意思表示が困難であるこどもの障害の特性等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行う。 ②生活習慣や生活リズムの形成 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身になるけられるよう支援する。来所持には お手洗いを必ず行い、お手洗いが自然と行えるように手順表を掲載しております。 ③基本的生活スキルの獲得 個別支援の中で、整理整頓(お片付け)の習慣をつけるための時間を確保し、生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活の場面における環境の工夫を行う。	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス ユニプルkids粕屋校

項 目	ね ら い
運動・感覚	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ③保有する感覚の活用
支 援 内 容 ①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善及び習慣、筋力の維持・強化を図る。 活動の中で、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢の習得。 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 食事においてはスプーンやフォーク、お箸など各種の補助ツールを効果的に活動できるように支援を行う。 各種の運動・動作が困難な場合、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるように支援する。 ③保有する感覚の活用 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分活用して、遊具等を使った遊びなどを通して支援を行う。 クッキングやタイピング、音楽などにより五感の習得を行う。	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス ユニプルkids粕屋校

項 目	ね ら い
認知・行動	①認知の特性についての理解と対応 ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習慣 ③行動障害への予防及び対応
支援内容 ①認知の特性についての理解と対応 一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように、絵カード等を用いて直接分かるように認知機能の発達を促すことのできる支援をする。 ②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習慣 イラストや写真、ホワイトボードなどを用いて、自身で理解できる情報を適切に処理し、自身で選択できる環境を整えて一人ひとりの特性に配慮した支援をする。 大小、数、重さ等の概念を具体的な対象物(ボール、ブロックなど)を用いて支援する。 ③行動障害への予防及び対応 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス ユニプルkids粕屋校

項 目	ね ら い
言語・コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力の向上 ②コミュニケーション手段の選択と活用 ③読み書き能力の向上
<p data-bbox="197 536 371 568">支 援 内 容</p> <p data-bbox="136 730 636 762">①コミュニケーションの基礎的能力の向上 障害の種別や程度等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援する。</p> <p data-bbox="136 922 602 954">②コミュニケーション手段の選択と活用 指差し、身振りや、コミュニケーション機器（パソコン）等のコミュニケーション手段を適切に選択活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。</p> <p data-bbox="136 1114 421 1145">③読み書き能力の向上 障害の特性に応じ、文字カードやカルタなどの教材、プログラミング等を用いて、読み書き能力の向上のための支援を行う。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス ユニプルkids粕屋校

項 目	ね ら い
人間関係・社会性	①アタッチメント(愛着)の形成と安定 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加
<p>支 援 内 容</p> <p>①アタッチメント(愛着)の形成と安定 話す・聞く・触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を構築していきます。 感情が崩れたり、不安になった際には、相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように支援する。</p> <p>②自己の理解と行動の調整 障害の特性を理解し、お子様一人ひとりに合わせた声掛け等を行い、気持ちや感情の調整ができるよう配慮し支援する。</p> <p>③仲間づくりと集団への参加 お子様一人ひとりの特性を理解し、状況や状態に合わせて、個別活動から集団活動へ順に移行できるよう参加を促す。 また、共に集団活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。</p>	